

授業科目	国際経済入門				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21306J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-3			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	貿易、地域統合、外国為替、国際金融、国際通貨、貧困問題、環境問題など、国際経済およびその諸問題について主要な論点を学びます。なお、すべて遠隔授業でおこないます。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA 並びに日本の EPA)をめぐる問題を説明できる。</li> <li>2. 外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。</li> <li>3. 通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。</li> <li>4. 途上国の貧困問題や環境問題を説明できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	42	58	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)		10	26				36	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		14	10				24	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)		14	10				24	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)		4	12				16	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
国際経済に関するさまざまな新聞・雑誌記事を理解できるようになる。				国際経済に関する基本的な知識を身に付け、説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	国際経済とは何か			講義		該当部分の復習		50

2	貿易理論、世界と日本の貿易	講義	該当部分の復習	50
3	貿易政策、世界の貿易体制	講義	該当部分の復習	50
4	地域統合、FTA とは何か	講義	該当部分の復習	50
5	地域統合、APEC,EU など	講義	該当部分の復習	50
6	直接投資、海外投資の影響	講義	該当部分の復習	50
7	国際金融取引、経常収支と資本収支	講義	該当部分の復習	50
8	為替レートの決定	講義	該当部分の復習	50
9	政府の為替介入、通貨危機	講義	該当部分の復習	50
10	国際通貨、通貨統合	講義	該当部分の復習	50
11	経済発展、経済成長率	講義	該当部分の復習	50
12	世界の貧困、国際社会の取組み	講義	該当部分の復習	50
13	政府開発援助、日本の ODA	講義	該当部分の復習	50
14	地球環境問題と持続可能な開発	講義	該当部分の復習	50
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	経済学の入門レベルの講義を履修しておくことが望ましいですが、授業を通して講義に必要な知識を随時復習していきます。			
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	多和田真(2010)『コンパクト国際経済学』(新世社) 阿部顕三・遠藤正寛(2012)『国際経済学』(有斐閣)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	普段から経済記事や経済ニュースを意識するようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	小テスト、レポートの内容については、授業で指示します。			

